

**1 題材設定の理由****(1) 活動内容・項目**

☆ 主たる内容・項目

- 〈(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること〉  
○ 希望や目標をもって生きる態度の育成

★ 関連する内容・項目

- 〈(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること〉  
○ 望ましい人間関係の育成  
○ 学級や学校における生活上の諸問題の解決

**(2) 題材設定の背景及び児童の一般的な実態と現状**

中学校入学は、子どもたちにとって、学級担任制から教科担任制への移行をはじめ学校規模や通学区の拡大、部活動への参加とそれに伴う対人関係の変化、新たな学校規則や生活スタイルへの対応など大きな環境の変化を意味する。また、小学校から中学校への移行期は、身体的変化とともに精神的変化をも含んだ疾風怒濤の時代とも言え、二重の意味で危機的な時期を迎える。こうした移行期に、すべての児童を対象として、中学校生活に対する不安の軽減・解決に向けたプログラムを実施することは、その後の生活に大きな意味をもつものと考えられる。

今回は、多くの子どもが会おう課題として「中学校入学時の適応」上の困難を予測し、ピア・サポートの手法を取り入れながら、互いに聴き合う(傾聴)体験を通して、不安や心配を軽減・解消したり、希望や夢を高め合ったりさせたい。

**(3) 指導法・指導上の留意点**

- ① 予防教育的なピア・サポート(※1)及びグループ・エンカウンター「さいころトーク」の手法を用い、互いの思いや願い・不安等を聴き合う演習を体験させることで、同級の仲間として互いにコミュニケーションをとりながら、サポートし合えることに気付かせる。

※1「ピアとは仲間、サポートとは支援すること。子ども同士が互いに支え合う関係を作り出すために、基礎的な社会的スキルを段階的に身に付けることを目的としたもの」

**2 指導目標**

- (1) 中学校生活に対する悩みや心配事、夢や目標を聴き合う活動を通して、中学校生活への不安や緊張等を軽減し、仲間支え合うことの大切さを知る。

**3 指導計画****(1) 事前・事後指導**

- <事前指導> 一朝の会等 ; 中学校生活に関するアンケートを行い、児童の実態(中学校生活への期待や不安)を把握する。  
<本時> 学級活動 ; 「仲間っていいな！」の授業を実施する。  
<事後指導> 一朝の会等 ; 仲間が互いに支え合う関係づくりを進める。  
学級活動 ; 「中学校へダッシュ!!」の授業を実施する。

**(2) 教科指導等との関連**

各教科等 ; 学習や諸活動における目標設定と解決方法に関する支援に生かす。

#### 4 指導案

##### (1) 指導過程

本時のねらい	① 中学校生活に対する悩みや心配事、夢や目標を聴き合う活動を通して、中学校生活への不安や緊張等を軽減し、仲間で支え合うことの大切さを知る。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (5分)	1 本時のねらいを理解する。 学級担任から本時のねらいと進め方について話を聞く。	○ 中学校入学を数ヶ月後に控え、悩みや不安、抱負や目標を前向きに聴き合うことを通して、仲間で支え合えることを知る。	◇アンケート 【評価 1】
展開 (35分)	2 演習を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">新たな中学校生活への願いや思い、不安等を互いに聴き合う。</div> ① 前向きな聴き方とは、どんな聴き方が確認する。  ② 「さいころトーキング」を行う。 ・トーク1 (現在の小学校生活について) ・トーク2 (中学校生活について)  ③ 振り返りをする。	○ 教師が「気が乗っていない聴き方」と「前向きな聴き方」のモデリングをする。  ○ 傾聴を基本に、共感的な聞き方ができるようにする。 ・うなずきながら ・相手を見て ・笑顔で  ○ やり方を説明し、グループを編制する。  ○ トーク1・トーク2と段階的に話題を取り上げることで徐々に話しやすい環境を作り上げる。  ○ 互いに話を聴き合うことでどんなことを感じたか、グループ内で自由に発表させる。	◇ワークシート  【評価 2】
まとめ (5分)	3 本時のまとめをする。 活動を振り返り、気付いたことや思ったことを「ふりかえりカード」に書く。	○ 中学校生活へ向けて、互いに支え合うことの大切さを確認する。	【評価 3】 ◇ふりかえりカード

##### (2) 評価計画 (評価の観点)

評価1 関心・意欲	○ 本時のねらいと進め方を知り、意欲的に取り組もうとしたか。
評価2 知識・理解	○ 聴き合う活動を通して、友達と支え合うことの大切さを理解できたか。
評価3 思考・判断	○ 今後の学級生活や中学校生活に希望をもてたか。

## 5 プログラムの展開例

- ◆ 活動場所 教室
- ◆ 準備物 「さいころトーキングのワークシート」「ふりかえりカード」

### □ 導入 (5分)

- 1 本時のねらいを理解する。



いよいよ卒業まで数ヶ月。そして、中学校入学ですね。この前の中学校生活のアンケートからも、期待や希望、そして悩みや不安などいろいろ出てきました。今日は、仲間同士で聴き合いながら互いに支えるということを体験してみましょう。

### □ 展開 (35分)

- 2 演習を行う。

新たな中学校生活への願い・思い・不安等を互いに聴き合う

- ①前向きな聴き方とは、どんな聴き方が確認する。〈教師のモデリング〉

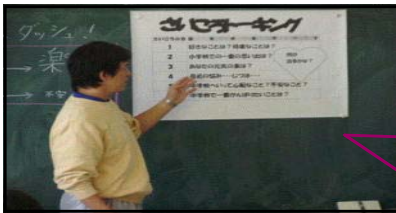
#### 「前向きな聴き方」



- ◆うなづきながら ◆相手を見て ◆笑顔で

※「気が乗っていない聴き方」(◆そっぽを向いて ◆目を合わせないで)との比較

- ②「さいころトーキング」を行う。



やり方を説明します。

- 1 まず、グループ内で順番を決め、自分でさいころを振ります。
- 2 出た目の数によって話をします。  
ただし、どうしても話しにくい場合や話したくない場合はパスができます。
- 3 初めに、トーク1をします。
- 4 次に、トーク2をします。

中学校には、どんな先生がいるのか楽しみです。いろいろな先生に教えてもらえるんだよね。



えー、怖くて 厳しいんじゃない??

A先生って、すごく おもしろいっていう うわさだけど・・・

お姉ちゃんも言ってた。  
勉強と部活、けっこう  
大変らしいよ。



部活やって帰りが遅くなったら宿題できるかな？

そうなんじゃない。  
いろいろありそう。



中学校って、決まりとか厳しいのかな？

そんなに心配しなくても大丈夫だと思うけどな。

大丈夫だよ。みんな初めてなんだからさ。

英語って難しそう！！



③振り返りをする。



みんな不安はあるけど、それを分かり合えてよかった。今日の活動を中学校へ行っても役立たせるようにしたい。



一人一人違う考えをもっているんだなと思った。悩みもあったけど、小さくなったかも。仲間同士で支え合うことがとても大切だと分かった。

□ **まとめ (5分)**

3 本時の活動を振り返り、気付いたことや考えたことを、「ふりかえりカード」に書き、本時のまとめをする。

## 6 児童の反応

### (1)「ふりかえりカード」から

- わたしがさいころトーキングの時に「社会（歴史）の勉強をするのが好きです。」と言ったら、みんなが「すごいねえ。」と言ってくれたのが、すごくうれしかったです。
- さいころトーキングでは、グループの人が中学校への不安やがんばりたいことを話していて、自分も、「あっ、そうだな」と思うことがあった。
- 普段話している友達でも知らないことがいっぱいあったんだなあ。もっと深く友達になれるなあと思った。
- みんなの気持ちが自分に伝わってきた。自分も中学生になったら目標をもって部活をがんばりたいです。
- みんな中学生になったらこんなことをしたいんだなあとか、小学校での思い出を知ることができたのでよかった。
- みんな私と同じ不安を持っていて少しホッとしたし、また、友達がいろんなことを言ってくれたので少し安心することができました。
- 今日の授業で仲間同士で支え合うことがとても大切だということ、自分の行動でどうすればいいのかがわかった。中学校への不安が少なくなってよかった。
- 他の人の悩みや得意なこと、好きなことを知って、みんないろいろあるんだなあと改めて感じました。中学校生活を楽しく過ごせるといいなあ・・・思いました。
- さいころトーキングが楽しかった。
- あまりしゃべらない人のことも分かってよかったです。友達は大事だなあと思いました。友達とたくさん話ができよかった。
- いろいろな人の気持ちが分かって、これからもがんばろうという気持ちが沸いてきました。中学校生活が楽しみです。
- 不安なことが少し消えて楽しさが2つくらい増えた。中学校では友達関係をよくしていきたいと思った。

## 7 授業者・参観者の感想、授業改善の視点

- さいころトーキングの中で、自然に話し手の方に体を向けて聞く姿勢が多く見られたのが印象的だった。
- 発表し合い、聴き合うことにより、新たな発見ができたことはよかったと思う。「みんな同じようなことに不安を持っているんだ」という発表があり、考えを共有していることを感じることができた。
- 人間関係が苦手な子・自分の気持ちのコントロールがうまくできない（経験が）少ない）子どもたちには、大切な学習であると思う。自分から行動できず、友達作りが苦手な子もいるので、傾聴という聴き合う活動を体験させることは意義があると思う。
- 他の人も同じ悩みを持っていることに気付いたり、励ましの言葉かけの良さに気付いたりすることが「さいころトーキング」の中でできていた。
- 移行不安に対処するためには、不安と期待のバランスをうまく取ることが必要だと感じた。そのことにより子どもたちは意欲をもつようになると思う。中学校への意識付け・レディネスづくりの基礎になる授業だと思う。

- まだ、中学校生活に関して、具体的に悩んだり考えたりしている子どもが少ないためか、実感が伴わない子も多少見られた。しかし、悩み始まる前だからこそ、この授業は意味があると思った。
- おとなしい子には意図的にグループ分けをして、やさしい子と組ませたので発表できていた。一部の子にはグループ分けも意図的に行わなければならないと感じた。
- 日頃からのかかわりを大切にし、傾聴体験を意図的に設定していく必要がある。
- この授業と関連させて、中学校訪問等を行い、中学生から情報を収集するなど新たなプログラムができる可能性があると感じた。

## 8 関連プログラム・参考文献等

### ◇ 関連プログラム

- ・「人間関係をつくる力を育てる指導援助プログラム（小・中・高等学校編）」  
福島県教育センター教育相談チーム編

### ◇ 参考文献

- ・「すぐ始められるピア・サポート指導案&シート集」  
森川澄男 監修 ほんの森出版
- ・「トレバーコール ピア・サポート実践マニュアル Kids Helping Kids」  
バーンズ亀山静子・矢部文 訳 川島書店
- ・「ピア・サポートではじめる学校づくり 小学校編」  
「総合的な学習の時間」に行う「心の教育」  
滝充 編著 金子書房

授業「仲間っていいな！」

# ふりかえりカード

6年 組 番 氏名

---

1 今の自分の気持ちに一番近いものを一つ選び、数字を○で囲んでください。

その通り      ほぼ      あまりその      その通り  
その通り      その通り      通りではない      ではない

① 今日の活動に意欲的に取り組むことができた。

4	3	2	1
---	---	---	---

② 仲間同士で支え合うことについて理解できた。

4	3	2	1
---	---	---	---

③ これからの学校生活や中学校生活に希望をもつことができた。

4	3	2	1
---	---	---	---

2 今日の授業（活動）をふりかえって、感じたことや考えたこと、今の気持ちなどを自由に書いてください。

# さいころトーク

## 【さいころトークのやり方】

- 1 グループ内で順番を決め、自分でさいころをふります。
- 2 出た目の数によって話をします。ただし、どうしても話しにくい場合や話したくない場合は、「パス」をしてもう一度さいころをふることができます。
- 3 初めに、「トーク1」で話をして下さい。
- 4 次に、「トーク2」で話をして下さい。

## 【トーク1】

さいころの目	話をするテーマ
1	好きなことは？
2	あなたの元気の素は？
3	小学校での一番の思い出は？
4	あなたが困ったときに助けてくれるものは？
5	最近ハマっていることは？
6	得意なことは？

## 【トーク2】

さいころの目	話をするテーマ
1	最近の悩み…じつは！
2	中学校へ行って心配なこと？不安なこと？
3	勉強やテスト？
4	中学校へ行って楽しみなこと？
5	部活動？
6	中学生になったらやってみたいこと？



# 中学校生活についてのアンケート

6年 組 番 名 前 ( )

◇ 中学校入学にあたって、楽しみにしていること、あるいは、不安に思っていることなどあったら、自由に書いてください。

- ① 中学校の決まりについて
- ② 学習に関することについて
- ③ 先生に関することについて
- ④ 部活動に関することについて
- ⑤ 友だちに関することについて
- ⑥ 家庭生活に関することについて
- ⑦ 自分に関することについて
- ⑧ その他



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....